

障害者計画等策定業務に伴う提案書評価表

項目	ポイント	配点	採点基準		
			不十分である	普通である	十分評価できる
1. 計画策定に関する基本的な考え方について	・今回策定する計画の、意義、目的について十分理解しているか	10	1～3	4～7	8～10
	・本市の状況等の理解度が高いと十分認められるか	10	1～3	4～7	8～10
2. アンケート調査について	・調査対象、対象者数及び調査票種類数についての設定根拠が十分であるか	10	1～3	4～7	8～10
	・調査対象のニーズを適切に抽出できる主要設問を設定しているか	10	1～3	4～7	8～10
	・障害種別や等級ごとの集計を行い、的確な分析ができそうか	10	1～3	4～7	8～10
	・回収率向上に向けた取り組みについて、現実的かつ効果的な提案ができそうか	10	1～3	4～7	8～10
3. アンケート調査及以外に行うべき調査について	・業務の重要度を考慮した提案になっているか	10	1～3	4～7	8～10
	・提案内容の実現性が十分であると認められるか	10	1～3	4～7	8～10
4. 策定スケジュールなど委託事業の進行管理について	・無理のないスケジュールを提示しており、かつ本市の負担軽減が見込まれるか	20	1～6	7～14	15～20
6. 各種障害福祉サービス及び障害児通所サービスのニーズ把握方法について	・根拠のあるサービス提供見込み値の提案ができそうか	20	1～6	7～14	15～20
7. 業務実施体制について	・委員会に出席する研究員が、過去5年間に同種業務実績があるか	10	1～3	4～7	8～10
	・研究員は、当該業務に、完了するまで専念できそうか	10	1～3	4～7	8～10
	・本業務に対し適切な人員配置がされているか	10	1～3	4～7	8～10
8. 貴社の障害福祉計画等の策定実績について	・過去5年間に同種業務の受託実績が豊富で、かつ優良な結果を残しているか	10	1～3	4～7	8～10
9. その他	・提案書全体を通して、本事業において受託意欲が十分に認められるか	10	1～3	4～7	8～10
	・独自提案がある場合、実現可能性が高い内容であるか	10	1～3	4～7	8～10
10. 見積金額	・予算の範囲内であり、提案に見合う金額であるか	20	1～6	7～14	15～20
合計		200			